

平成 23 年度「フロンティア・タイムⅠ」（普通科・2 単位）・「産業社会と人間」（総合学科・2 単位）
授業及び年間計画

1 位置付け

自己の在り方や生き方を認識し、進路設計をしていくために、自己や他者そして、自分を取り巻く社会を理解することを目的とした学習活動を行う。将来の生き方や多様な進路の可能性を認識し、考えを広げることをねらいとし、本校の総合的な学習の時間の入門期として位置付ける。

2 指導目標

- (1) 自己理解、学問・職業調査などを通して、生徒一人ひとりの個性に応じた的確な進路選択に必要な能力や態度の育成を図る。
- (2) 社会の中での自己の在り方や生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。
- (3) 生涯にわたって積極的に学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。
- (4) 日常及び将来の生活に必要なコミュニケーション能力を養う。

3 具体的な方策

- (1) 学習内容のねらいを明確にし、内容を精選しつつ、FTⅡにつなげられるよう、指導計画を作成する。
- (2) 指導方法の工夫、日頃の学習活動の充実を図るために、担任・副担任のティームティーチングで指導する。
- (3) 関連する分掌や教科との連携を図る。
- (4) 特別講座「学問の世界」・「職業人に学ぶ」・「土曜ゼミナール」を効果的に取り入れる。

4 年間計画

月	単元	内容・ねらい・留意点	関連行事等
4	本教科のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・本教科の趣旨，目的について理解させる。 ・自己の将来と学校での学びとのがかわりに目をむけさせ，何のために学ぶのかを考えさせる。 	○ホームルーム等での導入期指導
	1. 自己理解を深める ○自分史を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会で自己を生かすために，自己理解が重要であることを認識させ，コミュニケーションや他者理解の重要性について考えさせる。 	
5	2. 学問を知る ○グループ毎の調査研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・学問分野の概要を学ばせたり，様々な学問の世界に触れさせたりすることで，自己の適性について考えを深めさせ，進路について主体的に考えていく姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特別講座「学問の世界」 ○科目選択ガイダンス

宮城県宮城野高等学校

6	<p>3. 上級学校を知る ○上級学校の種類や、特徴、学習内容、資格取得等を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校調査を通して、入試制度等を理解させ進路決定までにどのようなことに留意したらよいか、考えを深めさせる。 ・それぞれの進路に応じた科目選択のしかたについて考えさせ個別相談の時間をとる。 	
	<p>4. 職業を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や仕事のやりがいを考えさせる。特別講座等で直接働く人々の意見や考え方を、生きがい等を聴かせ、イメージだけでは捉えず多くの視点から考えさせ、自分なりの勤労観職業観を深めさせる。 	<p>○特別講座 「職業人に学ぶ」</p>
7 ・ 8 ・ 9	<p>5. オープンキャンパス 6. 産業社会をとらえる ○グループ毎の調査研究②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に大学を訪れることによって、大学での学び、それ以降の自分の在り方についてもイメージを持たせる。 ・現代社会が抱える諸問題についてグループ毎に調べて発表する。資料作りや発表の仕方についても理解を深めさせる。 ・新聞やインターネット等からの記事を活用させつつ、情報の真実性や見方について考えさせる。 	<p>○オープンキャンパス</p>
	<p>前期のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の振り返りを通して、自己の進路等の課題をとらえその解決方法について考えを深めさせるようにする。 ・自己の変容や成長を確認させ、後期の展望をもたせる。 	
10 ・ 11	<p>7. デイバート ○グループ毎の調査研究③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・討論を通して他人の意見をよく聴き、自分の考えを主張していく力を養う。 ・さまざまな論題に触れることによって、自分を取り巻く社会について、興味関心を持たせる。 	
12 ・ 1 ・ 2 ・ 3	<p>8. 小論文を書こう 9. ライフプラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物事をさまざまな側面から考え、論理的に自分の意見を述べる形式を小論文を通して学ぶ。 ・これまでの活動を踏まえ、ライフプランをまとめる活動を通して進路選択と将来設計に対する理解を深め、自己の在り方生き方について考察できるようにする。発表会では他者の考えに触れ、多様な生き方について感じとらせる。 	<p>○特別講座 「土曜ゼミナール」</p>
	<p>一年間のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の振り返りを通して、自己の進路等の課題を確認しその課題を更に深められるようFT IIの活動について展望をもたせる。 ・一年間の自己の変化と成長を理解させる。 	<p>○FT II 発表会</p>

宮城県宮城野高等学校

5 使用教材

進路サポート（1年生用タイプI） ベネッセ
小論文チャレンジノート Vol.3 第一学習社

6 指導体制

各ホーム正・副担任で指導する。必要に応じて各分掌等に依頼する。

7 活動場所

各ホーム教室 コンピュータ室・ネット実習室 図書館 等

8 評価について

- 名活動の記録や発表等をもとに第2期及び第4期（年度末）に文章による評価を行う。
- 生徒自身による自己評価や振り返りも重視する。